令和５年度当初予算（予第２号）案について

～予算説明資料～

令和５年１月

阪神水道企業団

＝　目　　次　＝

Ⅰ．予算編成の背景と収支見通し

Ⅱ．令和５年度予算（案）の骨子

Ⅲ．予算編成の基本方針及び主要施策

Ⅳ．予算の大要

Ⅴ．予算の明細

Ⅵ．建設改良費説明書

Ⅶ．予定貸借対照表

Ⅰ．予算編成の背景と収支見通し

＜予算編成の背景＞

水道事業においては、人口減少に伴う水需要の減少、施設の老朽化及び更新需要の増大、人材不足などに加え、新型コロナウイルス感染症による給水収益の減少、ロシア・ウクライナ情勢の影響による物価上昇や資機材納入の遅延といった問題が生じており、特に、電気料金の高騰、建設コストの増大が財政に与える影響は大きく、引き続き厳しい状況にある。

南海トラフ巨大地震、気候変動等による豪雨、河川氾濫及び台風などの自然災害の発生リスクは高まっており、国をはじめとして国土強靱化や脱炭素の取組が進められている。

また、国及び地方等において、デジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）が推進されており、行政のみならず、様々な場面でのデジタル技術の活用が一層進展していくことが想定される。

企業団では、「水道用水供給ビジョン 2017」に基づき策定した「経営戦略 2020」において、施設規模の適正化、老朽化対策及び耐震化、災害リスク対策を進めるとともに、持続的な経営や組織体制の強化に向け、経営基盤の強化、施設整備のための財源確保、費用負担の見直し、組織体制の適正化、人材育成・技術継承等に取り組むこととしている。

これらの施策を着実に推進するとともに、企業団を取り巻く環境への対応にも全力を挙げ、引き続き厳しい姿勢で経営に当たり、より一層の経営努力に取り組んでいかなければならない。

＜令和４年度の収支見通し＞

令和４年度における損益収支は、電気料金高騰により動力費が増加するものの、約 14 億円の純利益を確保することができる見通しである。これにより、予定より１年度前倒しで累積欠損金を解消し、同年度末の利益剰余金は約２億円となる見込みである。

また、同年度中における資金収支は、約 25 億円減少し、同年度末の資金残額は、約 102 億円となる見込みである。

（単位：千円）

区分	既決予定額	補正予定額	計
当年度予定純利益	1,376,782	0	1,376,782
当年度末予定利益剰余金	197,455	0	197,455
当年度予定資金過不足額	△ 2,520,906	195	△ 2,520,711
当年度末予定資金残額	10,205,501	195	10,205,696

＜今後の財政見通し＞

企業団の損益収支は、平成 24 年度以降は単年度純利益を計上しており、今年度末において累積欠損金を解消できる見通しとなったが、「予算編成の背景」に記載した事象に加え、金利の上昇などが懸念され、厳しい状況は継続するものと考えている。

このような状況にはあるものの、安全な水の安定供給を持続していくため、施設や管路の更新や災害への対応強化、ＤＸによる業務の効率化・高度化、人材育成等に取り組むとともに、施設規模の適正化や広域連携の推進等により、経営基盤の強化を図っていく。

Ⅱ．令和５年度予算（案）の骨子

＜基本方針＞

・　基本理念である「安全な水の安定供給の持続」の下、財政計画に掲げた施策を遂行
・　施設規模の適正化、災害対策、ＤＸ、人材育成等の主要施策の推進
・　物価高騰や金利の上昇、施策の進捗状況等を考慮

＜予算規模＞

１　収益的収支

水道事業収益	20,181,152 千円	（対財計比 100.5%）
水道事業費用	18,696,022 千円	（対財計比 111.2%）

２　資本的収支

資本的収入	1,758,506 千円	（対財計比 57.4%）
資本的支出	8,292,225 千円	（対財計比 64.1%）

３　損益・資金収支

当年度予定純利益	1,007,908 千円	（財政計画 2,418,030 千円）
当年度末予定利益剰余金	1,205,363 千円	（財政計画 1,028,278 千円）
当年度予定資金過不足額	1,196,738 千円	（財政計画 △176,551 千円）
当年度末予定資金残額	11,402,434 千円	（財政計画 8,930,822 千円）

＜主要施策＞

１　施設整備

・　施設規模の適正化を図りつつ、主力である３期系統の送水管の更新及び猪名川浄水場改修を推進
・　設備工事では、企業団初の設計、施工及び保守に係る一括発注方式（ＤＢＭ）を導入
・　災害リスク対策の推進（エンジンポンプ設置、非常用電源設備基本設計等）

２　持続的な経営

・　施設規模の適正化とそれに伴う施設整備の抑制、経営改善策の継続
・　施設整備の財源である企業債の適切な借入、耐震化等交付金の確保

３　組織体制の強化

・　「ＤＸ推進計画」の策定
・　「人材育成方針」に基づく人材育成

４　今後の事業運営のための取組

・　環境配慮への取組、広報活動の推進

Ⅲ．予算編成の基本方針及び主要施策

＜基本方針＞

基本理念である「安全な水の安定供給の持続」の下、「水道用水供給ビジョン2017」、「経営戦略 2020」に基づく「財政計画（令和２年度～５年度）」に掲げた施策を着実に遂行することを基本方針とする。

施設規模の適正化、災害対策、ＤＸ、人材育成等の主要施策を推進するとともに、物価高騰や金利の上昇、施設整備をはじめとする施策の進捗状況等を踏まえ、予算編成を行った。

＜主要施策＞

１　施設整備

⑴　施設規模の適正化並びに老朽化対策及び耐震化

施設整備については、施設規模の適正化に向け、構成市と協議の上、管口径やポンプ能力の縮小などを図り、アセットマネジメントの実践により、効果的に老朽化対策及び耐震化を推進していく。

なお、現在の進捗状況や工事内容の見直し等を考慮し、財政計画から変更しているが、これに伴う工程の遅れについては、経営戦略期間中において概ね解消できる見込みである。

管路については、引き続き配水管の更新を進め、大規模管路である猪名川浄水場系統に属する３期送水管路の更新工事を順次着工していく。また、水管橋についても耐震補強による耐震性向上や塗装による腐食防止を図る。

構造物については、老朽化や耐震性に関する診断結果に基づく改修を行うとともに、送水管のバックアップに必要な系統連絡施設を築造する。

設備については、猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備取替において、企業団として初となる設計、施工及び保守に係る一括発注方式（ＤＢＭ）を導入する。また、機器の更新及び修繕等に当たっては、脱炭素に関連する国の動きを踏まえ、省エネルギー化を図りつつ、「主要機器の更新基準及び点検整備基準」に基づき取替・修理を実施する。

【主な取組】

① 管路〔1,904,431 千円〕

- 配水管更新［尼崎市への配水管］（債務負担：R4～R7）
- 送水管更新（債務負担：R3～R8）
- 水管橋耐震補強（上ヶ原） ほか

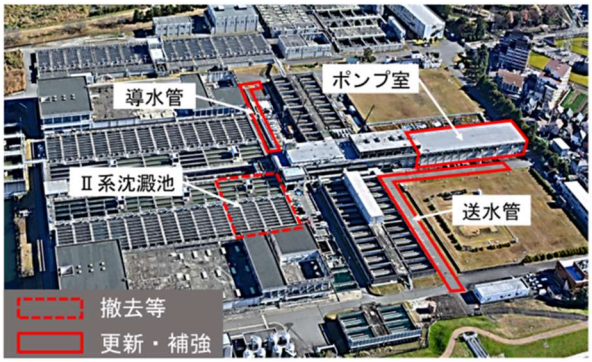
配水管更新工事

送水管更新工事

② 構造物〔681,032 千円〕

- 猪名川浄水場改修工事
  （債務負担：R4～R8）
- ３期甲東送水路上ヶ原量水池改修及び甲山調整池連絡施設築造工事
  （債務負担：R3～R7）
- 本庁舎改修工事※
  （債務負担：R5～R7）ほか
  ※既存不適格箇所の解消等

猪名川浄水場Ⅰ・Ⅱ系



③ 設備〔1,436,339 千円〕

- 猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備取替（債務負担：R5～R8）［ＤＢＭ］
- 甲東ポンプ場受配電設備取替及び受電棟築造（債務負担：R5～R8）
- 猪名川浄水場改修工事（機械電気設備）（債務負担：R5～R9） ほか

甲東ポンプ場受配電設備

猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備

〔耐震化率の推移〕　（単位　%）

施設分類	R４年度	R５年度		R13 年度
	実施中（見込み）	財政計画（目標値）	予算	目標値
管路（トンネル含む）	60.0	60.4	60.4	70 以上
浄　水　施　設	53.9	53.9	53.9	100
ポ　ン　プ　所	83.6	67.1	83.6	100
配　　水　　池	80.8	80.8	80.8	94.9

※　配水池は浄水池及び調整池を含む。

※　構造物（浄水施設、ポンプ所、配水池）の目標値は R1～2 年度に実施した耐震診断結果を反映した数値に変更している。

管路については、令和３年度に着工した３期猪名川送水管更新工事の完成に伴い耐震化率が上昇する。

浄水施設については、令和５年度において変動はないものの、施工中である猪名川浄水場改修工事の完成により、令和８年度以降において耐震化率が上昇する見込みである。

ポンプ所及び配水池については、同じく令和５年度において変動はないものの、施工中である猪名川浄水場Ⅰ・Ⅱ系ポンプ室とⅢ系浄水池の耐震改修工事の完成により、令和４年度において耐震化率が上昇する見込みである。

⑵　災害リスク対策

近年の自然災害の発生状況を踏まえ、ハード・ソフト両面におけるリスク対策を推進する。

また、災害発生時等における人材確保の観点から、構成市内に所在する企業への工事発注の取組を継続する。

応急給水訓練

【主な取組】

- 大道取水場期導水 A-5 号用エンジン設置［停電対策］
  （債務負担：R4～R5）
- 西宮ポンプ場送水６号用エンジン取替［停電対策］
  （債務負担：R5～R6）
- 尼崎浄水場非常用発電設備設置工事
  基本設計及び導入可能性調査業務委託
  （債務負担：R5～R6）

大道取水場
４期導水ポンプ A-5 号

２　持続的な経営

⑴　経営基盤の強化

施設規模の適正化とそれに伴う施設整備の抑制により、また、これまでに実施してきた経営改善策について、新たな施策も取り入れつつ継続することにより、経営基盤の強化を図っていく。

このほか、住吉鉄筋公舎跡地及び配水池について売却を目指している。

【参考】経営改善効果額の財政計画・予算比較　（単位　百万円（税抜き））

	Ｒ２		Ｒ３		Ｒ４		Ｒ５	
	財政計画	決算	財政計画	決算	財政計画	予算	財政計画	予算
収益の確保	125.7	125.1	126.1	128.3	125.5	126.9	127.2	126.6
経費の削減	277.6	254.2	183.5	173.9	176.0	193.6	192.7	117.6
合計	403.3	379.3	309.6	302.2	301.5	320.5	319.9	244.2

※　令和５年度予算においては、原油価格高騰等により電力契約内容が変更予定のため、財政計画と比較して効果額が減少する見込みである。

⑵　施設整備のための財源確保

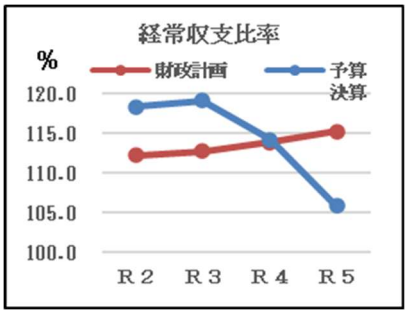
企業債の適切な借入れによって施設整備を実施するための財源として、企業債を適切に借り入れるとともに、耐震化等交付金の確保に努める。

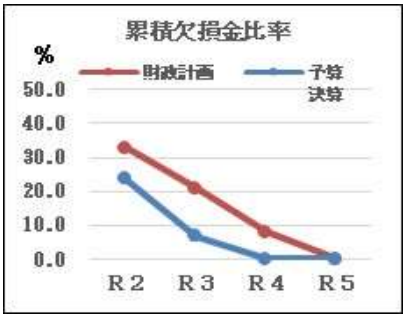
・　令和５年度企業債借入予定〔1,506,000 千円〕
・　令和５年度生活基盤施設耐震化等交付金予定〔237,583 千円〕

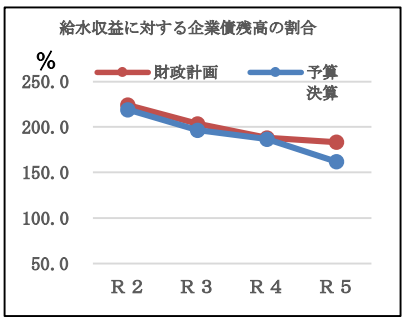
⑶　費用負担の見直し

構成市との協議に基づき、令和９年度からの費用負担制度の改正に向けた手続を進める。

〔主要指標の財政計画・予算比較〕　（単位　％）







	R２		R３		R４		R５	
	財政計画	決算	財政計画	決算	財政計画	予算	財政計画	予算
経常収支比率	112.2	118.3	112.7	119.1	113.8	114.1	115.2	105.8
累積欠損金比率	32.9	23.8	21.0	6.8	8.1	0.0	0.0	0.0
給水収益に対する企業債残高の割合	224.3	219.1	203.5	196.7	188.3	186.6	183.5	162.0

経常収支比率については、物価高騰等に伴う浄化費、動力費等の増加に伴い計画を下回るものの、当年度純利益は確保できる見通しである。

一方、累積欠損金比率については、令和４年度において累積欠損金を解消することにより１年度前倒しで計画を達成する見通しであり、給水収益に対する企業債残高の割合についても、計画を上回る見通しである。

３　組織体制の強化

⑴　組織体制の適正化

事業継続・危機管理等に必要な職員数を念頭に置きつつ、業務の効率化・高度化に向けた取組の推進等を図る。

【主な取組】

①　業務の効率化・高度化の推進

- デジタル技術を活用し、業務の効率化・高度化を推進すべく「ＤＸ推進計画」を策定
- 工事平準化に向けた「ゼロ債務負担行為」の活用
- 施設整備に関するＤＢＭの導入

②　新型コロナウイルス感染症への対応

- 感染症対策の継続実施

⑵　人材育成・技術継承

計画的かつ戦略的な採用活動を行うとともに、人材育成方針に基づく施策を実施し、職員が自らどうあるべきかを考え、行動する「主体性」を持った職員の育成を図る。

令和５年度から定年が段階的に引き上げられることを踏まえ、高齢期職員に求められる役割を果たすことができるよう、「高齢期職員の活躍促進」のための施策等を実施する。

【主な取組】

- 計画的かつ戦略的な職員採用
- 人材育成方針に基づく施策の実施
- 定年延長を踏まえた高齢期職員の活躍促進

４　今後の事業運営のための取組

構成市との「阪神地域の水供給の最適化研究会」を継続して実施するとともに、近隣水道事業体との広域連携に関する取組に関する検討、新規供給に関する協議調整、官民連携等を推進する。

また、環境への負荷抑制のための取組を進めるとともに、広報戦略の運用を図り積極的な広報・ＰＲに努めていく。

⑴　広域連携の推進

①　明石市への新規供給に関する協議調整

②　「阪神地域の水供給の最適化研究会」の継続実施

③　近隣水道事業体（伊丹市・川西市）との情報交換

⑵　他事業との連携、官民連携の推進等

①　「民間事業者とのパートナーシップ構築ガイドライン」に基づく官民連携の推進

②　水道技術の国際貢献の継続

⑶　環境配慮への取組

①　省エネ機器の導入

- 猪名川浄水場における高濃度オゾン発生器への取替

②　浄水発生土の有効活用の継続

⑷　情報の収集・発信

①　広報戦略に基づく広報活動の推進

Ⅳ．予算の大要

１．業務の予定量

（単位 m^3）

給水市名	１日平均給水量	分賦基本水量	給水量
神戸市	446,867	163,553,322	158,448,478
尼崎市	162,767	59,572,722	44,768,183
西宮市	131,953	48,294,798	47,135,723
芦屋市	28,870	10,566,420	9,268,460
宝塚市	19,145	7,007,070	7,007,070
計	789,602	288,994,332	266,627,914

２．収益的収支の予定額

（単位 千円、税込み）

科目	当年度予定額	前年度予定額	比較(△減)
水道事業収益	20,181,152	20,105,686	75,466
営業収益	19,085,203	18,992,019	93,184
営業外収益	1,095,948	1,113,666	△ 17,718
特別利益	1	1	0
水道事業費用	18,696,022	17,090,136	1,605,886
営業費用	17,540,590	15,974,041	1,566,549
営業外費用	1,150,428	1,111,091	39,337
特別損失	4	4	0
予備費	5,000	5,000	0

３．資本的収支の予定額

（単位 千円、税込み）

科目	当年度予定額	前年度予定額	比較(△減)
資本的収入	1,758,506	1,959,615	△ 201,109
企業債	1,506,000	1,945,000	△ 439,000
出資金	14,920	14,611	309
国庫補助金	237,583	1	237,582
固定資産売却代金	1	1	0
工事負担金	1	1	0
その他資本収入	1	1	0
資本的支出	8,292,225	12,036,494	△ 3,744,269
建設改良費	4,324,262	7,833,601	△ 3,509,339
企業債償還金	3,863,067	4,156,417	△ 293,350
水利負担金	76,926	43,834	33,092
国庫補助金返還金	27,970	2,642	25,328

４．損益・資金収支の予定額

○当年度予定純利益　1,007,908 千円
○当年度末予定利益剰余金　1,205,363 千円
○当年度予定資金過不足額　1,196,738 千円
○当年度末予定資金残額　11,402,434 千円

５．新規債務負担行為の設定

（単位 千円、税込み）

事　　項	期　　間	限度額
大道取水場特高受電設備取替工事基本設計及び事業者選定支援業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	34,540
大道取水場５期導水ポンプ２号取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	653,180
大道取水場３期導水ポンプ１号取替工事設計業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	19,426
大道取水場原水水質連続監視装置取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	98,417
猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和８年度まで	2,654,300
尼崎浄水場非常用発電設備設置工事基本設計及び導入可能性調査業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	32,890
猪名川浄水場Ⅱ系沈澱池弁類取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	393,690
猪名川浄水場Ⅱ系ろ過池弁類取替工事設計業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	16,500
猪名川浄水場Ⅲ系攪拌機設備取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	158,356
猪名川浄水場Ⅲ系ろ過池洗浄設備取替工事設計業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	15,697
猪名川浄水場Ⅲ系ろ過池排水弁取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	37,785
猪名川浄水場特高受電設備監視装置及び北機械室配電設備取替工事設計業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	27,720
猪名川浄水場送液ポンプ操作盤及びⅢ系集泥設備操作盤取替工事設計業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	22,957
猪名川浄水場Ⅲ系リターンバイパス弁現場操作盤及び受水電動弁操作盤取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	22,077
猪名川浄水場及び尼崎浄水場分析計取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	68,761
猪名川浄水場改修工事その３（機械電気設備）【ゼロ債務】	令和５年度から令和９年度まで	1,688,500
１期越木岩送水トンネル整備に係る基本検討業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	23,100
甲東ポンプ場受配電設備取替工事及び受電棟築造工事	令和５年度から令和８年度まで	2,040,500
尼崎浄水場配水ポンプ設備取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和８年度まで	1,352,780
計装設備取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	32,516
猪名川浄水場送水ポンプ設備取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和７年度まで	1,145,320
猪名川浄水場送水サージタンク用逆止弁取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	34,265
送水管更新工事その３【ゼロ債務】	令和５年度から令和８年度まで	4,086,500

（単位 千円、税込み）

事　項	期　間	限度額
西宮ポンプ場送水6号用エンジン取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	381,480
分析計取替工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	4,070
乗貨兼用車【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	2,090
本庁舎改修工事その２	令和５年度から令和７年度まで	913,732
保安警備業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和９年度まで	256,924
取水場運転管理業務委託	令和５年度から令和９年度まで	642,448
浄水場運転管理業務委託	令和５年度から令和９年度まで	639,748
導送配水ポンプ用回転数制御装置点検整備工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	42,351
導水ポンプ用回転計修理工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	14,850
導水ポンプ及び導水ポンプ用管内クーラ点検整備工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	24,552
インバータ盤点検整備工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	20,636
Ⅱ系オゾン設備保守業務委託【ゼロ債務】	令和５年度から令和33年度まで	1,320,000
浮上分離設備修理工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	6,926
冷却水１次ポンプ用インバータ修理工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	6,061
薬品注入盤点検整備工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	24,860
CGS用制御盤点検整備工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	55,297
水管橋塗装工事	令和５年度から令和６年度まで	37,620
送配水ポンプ用回転数制御装置点検整備工事その２【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	29,150
送水ポンプ用起動制御盤点検整備工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	12,364
保護継電器修理工事その２【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	3,190
送配水ポンプ用回転数制御装置点検整備工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	30,008
起動制御盤点検整備工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	3,014
受配電設備点検整備工事【ゼロ債務】	令和５年度から令和６年度まで	5,170
合　計		19,136,318

Ⅴ．予算の明細

○収益的収入及び支出（税込み）

（単位　千円）

年度 / 収支区分	R5 財政計画 ①	前年度当初予算額 ②	予算案 ③	予算案－財計 ③－①	予算案－前年度予算 ③－②
水道事業収益	20,085,782	20,105,686	20,181,152	95,370	75,466
営業収益	18,979,849	18,992,019	19,085,203	105,354	93,184
分賦金	18,972,116	18,983,165	19,053,109	80,993	69,944
その他営業収益	7,733	8,854	32,094	24,361	23,240
営業外収益	1,105,932	1,113,666	1,095,948	△ 9,984	△ 17,718
受取利息	904	2,515	2,334	1,430	△ 181
補助金	15,977	15,057	13,337	△ 2,640	△ 1,720
長期前受金戻入	942,307	950,229	932,514	△ 9,793	△ 17,715
雑収益	146,744	145,865	147,763	1,019	1,898
特別利益	1	1	1	0	0
水道事業費用	16,812,365	17,090,136	18,696,022	1,883,657	1,605,886
営業費用	15,838,587	15,974,041	17,540,590	1,702,003	1,566,549
職員給与費	2,044,503	2,052,424	2,046,133	1,630	△ 6,291
浄化費	743,196	811,263	986,248	243,052	174,985
動力費	2,864,774	2,895,039	4,290,774	1,426,000	1,395,735
施設管理費	1,350,484	1,467,041	1,577,538	227,054	110,497
物件費	115,055	111,280	131,565	16,510	20,285
諸費	818,098	911,753	906,817	88,719	△ 4,936
水源管理負担金	505,052	441,862	455,628	△ 49,424	13,766
減価償却費	7,176,877	7,044,808	7,039,970	△ 136,907	△ 4,838
資産減耗費	220,548	238,571	105,917	△ 114,631	△ 132,654
営業外費用	968,774	1,111,091	1,150,428	181,654	39,337
企業債利息	595,597	646,321	550,260	△ 45,337	△ 96,061
割賦負担金利息	14,177	15,058	14,177	0	△ 881
借入金利息	1	1	1	0	0
消費税及び地方消費税	352,265	443,227	581,771	229,506	138,544
雑支出	6,734	6,484	4,219	△ 2,515	△ 2,265
特別損失	4	4	4	0	0
予備費	5,000	5,000	5,000	0	0
収支差引額	3,273,417	3,015,550	1,485,130	△ 1,788,287	△ 1,530,420

○資本的収入及び支出（税込み）

（単位　千円）

年度 / 収支区分	R5 財政計画 ①	前年度当初予算額 ②	予算案 ③	予算案－財計 ③－①	予算案－前年度予算 ③－②
資本的収入	3,062,924	1,959,615	1,758,506	△ 1,304,418	△ 201,109
企業債	3,048,000	1,945,000	1,506,000	△ 1,542,000	△ 439,000
出資金	14,920	14,611	14,920	0	309
国庫補助金	1	1	237,583	237,582	237,582
固定資産売却代金	1	1	1	0	0
工事負担金	1	1	1	0	0
その他資本収入	1	1	1	0	0
資本的支出	12,931,969	12,036,494	8,292,225	△ 4,639,744	△ 3,744,269
建設改良費	9,043,246	7,833,601	4,324,262	△ 4,718,984	△ 3,509,339
企業債償還金	3,843,963	4,156,417	3,863,067	19,104	△ 293,350
水利負担金	44,759	43,834	76,926	32,167	33,092
国庫補助金返還金	1	2,642	27,970	27,969	25,328
資本的収支不足額(△)	△ 9,869,045	△ 10,076,879	△ 6,533,719	3,335,326	3,543,160
補てん財源	18,799,867	20,603,067	17,936,153	△ 863,714	△ 2,666,914
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	805,607	691,681	405,458	△ 400,149	△ 286,223
利益剰余金又は当年度純損失(△)	2,418,030	2,268,971	1,007,908	△ 1,410,122	△ 1,261,063
繰越利益剰余金	0	0	197,455	197,455	197,455
損益勘定留保資金等	15,576,230	17,642,415	16,325,332	749,102	△ 1,317,083

前年度末資金残額	9,107,373	12,726,407	10,205,696	1,098,323	△ 2,520,711
当年度資金過不足(△)額	△ 176,551	△ 912,081	1,196,738	1,373,289	2,108,819
当年度末資金残額	8,930,822	11,814,326	11,402,434	2,471,612	△ 411,892

【参考】

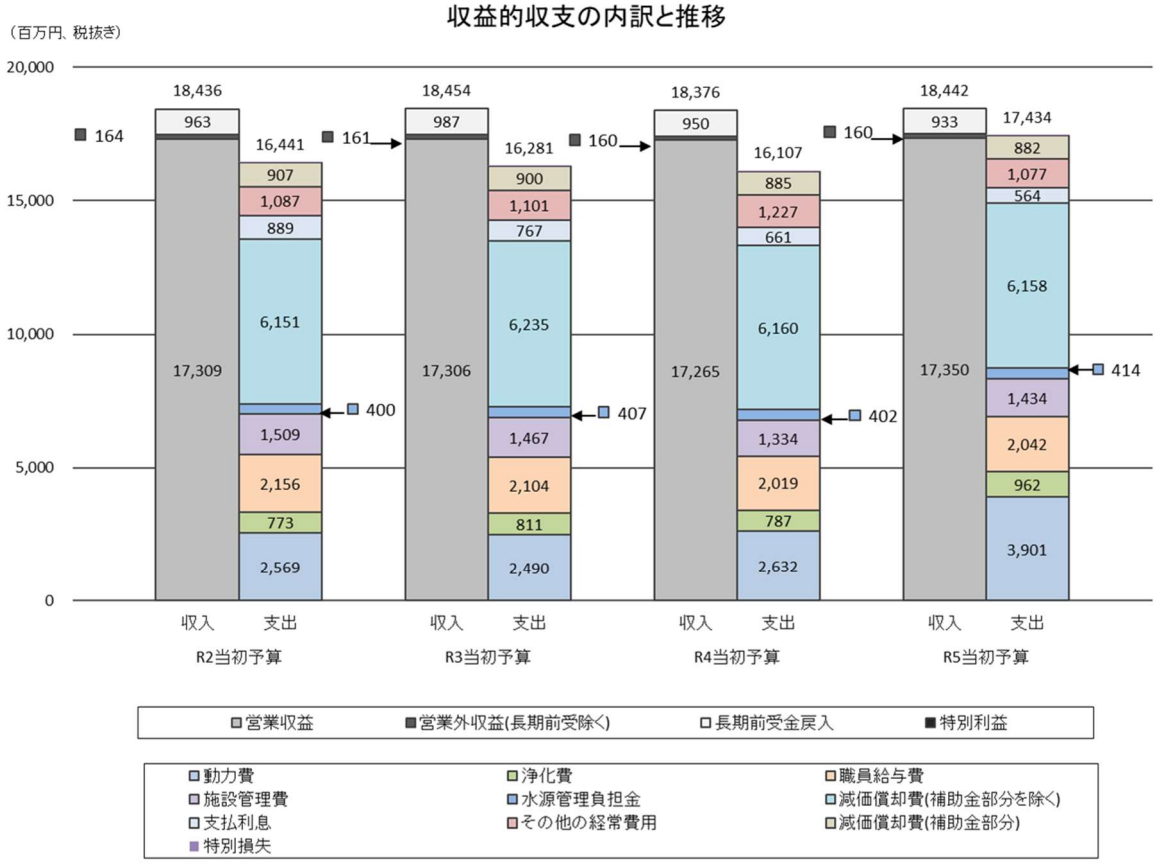
・収益的収入及び支出（税抜き）

（単位　千円）

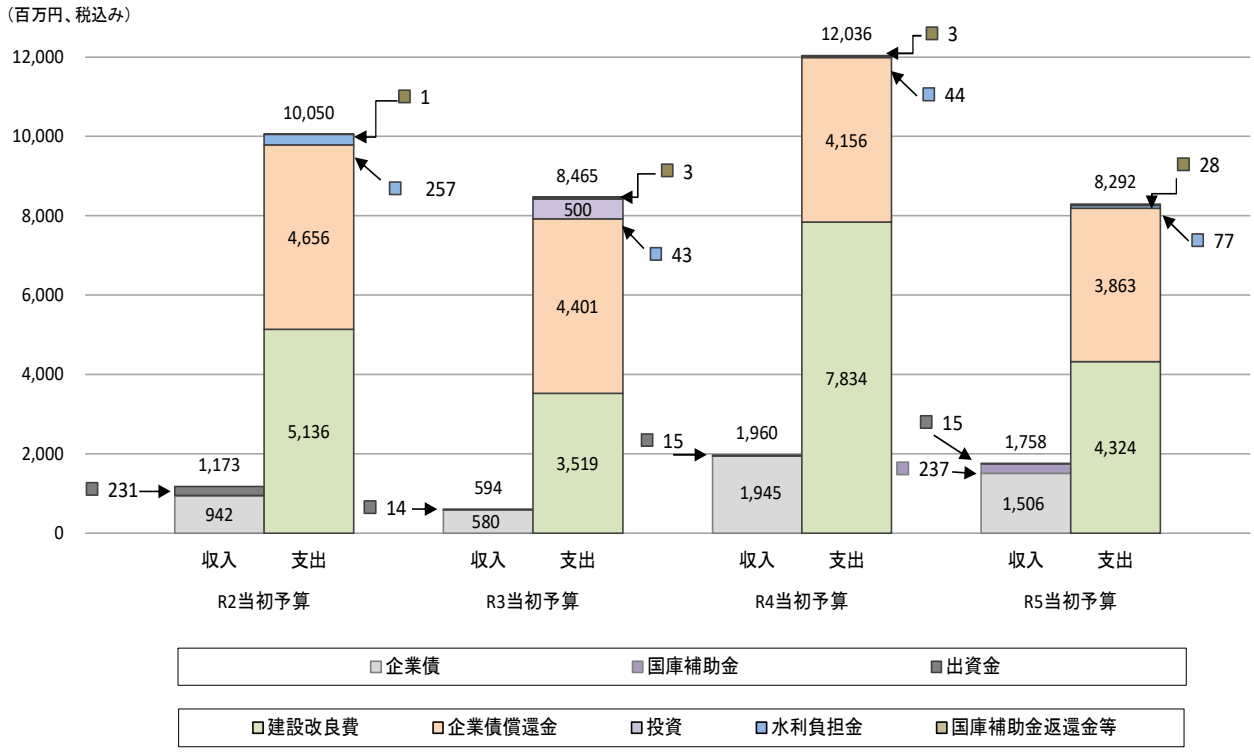
年度 / 収支区分	R5 財政計画 ①	前年度当初予算額 ②	予算案 ③	予算案－財計 ③－①	予算案－前年度予算 ③－②
水道事業収益	18,356,646	18,375,520	18,442,344	85,698	66,824
営業収益	17,254,410	17,265,471	17,350,186	95,776	84,715
分賦金	17,247,379	17,257,421	17,321,009	73,630	63,588
その他営業収益	7,031	8,050	29,177	22,146	21,127
営業外収益	1,102,235	1,110,048	1,092,157	△ 10,078	△ 17,891
受取利息	904	2,515	2,334	1,430	△ 181
補助金	15,977	15,057	13,337	△ 2,640	△ 1,720
長期前受金戻入	942,307	950,229	932,514	△ 9,793	△ 17,715
雑収益	143,047	142,247	143,972	925	1,725
特別利益	1	1	1	0	0
水道事業費用	15,938,616	16,106,549	17,434,436	1,495,820	1,327,887
営業費用	15,314,020	15,430,508	16,856,798	1,542,778	1,426,290
職員給与費	2,040,746	2,048,658	2,042,359	1,613	△ 6,299
浄化費	720,440	787,032	961,711	241,271	174,679
動力費	2,604,486	2,631,969	3,900,819	1,296,333	1,268,850
施設管理費	1,227,716	1,333,652	1,434,107	206,391	100,455
物件費	104,780	101,374	119,814	15,034	18,440
諸費	759,286	842,753	837,897	78,611	△ 4,856
水源管理負担金	459,141	401,691	414,204	△ 44,937	12,513
減価償却費	7,176,877	7,044,808	7,039,970	△ 136,907	△ 4,838
資産減耗費	220,548	238,571	105,917	△ 114,631	△ 132,654
営業外費用	619,592	671,037	572,634	△ 46,958	△ 98,403
企業債利息	595,597	646,321	550,260	△ 45,337	△ 96,061
割賦負担金利息	14,177	15,058	14,177	0	△ 881
借入金利息	1	1	1	0	0
雑支出	9,817	9,657	8,196	△ 1,621	△ 1,461
特別損失	4	4	4	0	0
予備費	5,000	5,000	5,000	0	0
収支差引額	2,418,030	2,268,971	1,007,908	△ 1,410,122	△ 1,261,063

前年度末利益剰余金又は繰越欠損金（△）	△ 1,389,752	△ 1,179,327	197,455	1,587,207	1,376,782
当年度純利益又は純損失（△）	2,418,030	2,268,971	1,007,908	△ 1,410,122	△ 1,261,063
当年度末利益剰余金又は繰越欠損金（△）	1,028,278	1,089,644	1,205,363	177,085	115,719

収益的収支の内訳と推移



資本的収支の内訳と推移



Ⅵ．建設改良費説明書

１．建設改良費

（単位　千円、税込み）

科目		金額	施工区分	
原水施設費		586,204		
	設備改良費	585,745	**取導水管整備事業**	47,531
			電食防止施設整備	
			大道取水場設備改良	538,214
			大道取水場4期導水A-5号用エンジン設置	
			大道取水場油膜検知器取替	
			大道取水場冷暖房機取替	
	固定資産購入費	459	水質試験用器具	459
浄水施設費		750,815		
	設備改良費	692,972	**浄水施設整備事業**	526,100
			猪名川浄水場改修その３	
			猪名川浄水場設備改良	107,189
			猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備取替（基本設計及び事業者選定支援業務）	
			猪名川浄水場Ⅲ系中間ポンプ設備取替（設計業務）	
			猪名川浄水場場内水位計取替	
			猪名川浄水場制御機器用冷却装置取替	
			尼崎浄水場設備改良	19,459
			尼崎浄水場計算機制御装置取替（設計業務）	
			送水センター設備改良	36,674
			甲東ポンプ場次亜塩素酸ナトリウム注入設備取替（設計業務）	
			水質試験所設備改良	3,550
			小型荷物昇降機設置（設計業務）	
			電気室空調設備設置	
	固定資産購入費	57,843	作業用器具	164
			水質試験用器具	57,679

（単位　千円、税込み）

科　　目		金　額	施　工　区　分	
配　水　施　設　費		2,657,301		
	設　備　改　良　費	2,654,543	**送配水施設整備事業**	119,900
			甲東ポンプ場改修（検討業務）	
			３期甲東送水路上ヶ原量水池改修及び 甲山調整池連絡施設築造	
			送配水管整備事業	1,856,900
			配水管更新その２	
			送水管更新	
			送水管更新その２	
			猪名川浄水場設備改良	503,470
			猪名川浄水場配水6号ポンプ取替	
			猪名川浄水場配水ポンプ設備取替（設計業務）	
			送水センター設備改良	153,065
			センター設備取替（設計業務）	
			甲東ポンプ場受配電設備取替及び受電棟築造	
			甲東ポンプ場配水ポンプ設備取替（設計業務）	
			西宮ポンプ場送水用エンジンポンプ改修（設計業務）	
			送水センター冷暖房機設備設置	
			通信設備改良	7,282
			甲山地区斜面監視システム取替（設計業務）	
			計測設備改良	13,926
			送配水流量計取替	
	固定資産購入費	2,758	作業用器具	1,672
			水質試験用器具	1,086
営　業　施　設　費		107,577		
	設　備　改　良　費	88,542	**通信設備改良**	53,510
			無線電話装置取替	
			テレメータ設備取替（設計業務）	
			建物改良	35,032
			本庁舎改修その２	
			本庁舎改修その２（設計業務）	
	固定資産購入費	19,035	事務用器具	19,035
事　務　費		222,365		
合　計		4,324,262		

Ⅶ. 予定貸借対照表

（令和6年3月31日）

資　産　の　部　　（単位 千円）

1　固定資産				
（1）有形固定資産				
イ 土地		7,935,577		
ロ 建物	20,423,983			
減価償却累計額	△ 11,151,622	9,272,361		
ハ 構築物	174,662,092			
減価償却累計額	△ 92,894,059	81,768,033		
ニ 機械及び装置	93,201,905			
減価償却累計額	△ 73,658,174	19,543,731		
ホ 車両運搬具	56,773			
減価償却累計額	△ 45,038	11,735		
ヘ 器具備品	1,035,140			
減価償却累計額	△ 689,266	345,874		
ト 建設仮勘定		4,107,488		
有形固定資産合計			122,984,799	
（2）無形固定資産				
イ 水利権		11,320,203		
ロ 施設利用権		3,182		
ハ 電話加入権		1,082		
無形固定資産合計			11,324,467	
（3）投資その他の資産				
イ 出資金		69,856		
ロ 投資有価証券		500,000		
投資その他の資産合計			569,856	
固定資産合計				134,879,122
2　流動資産				
（1）現金預金			11,575,479	
（2）貯蔵品			121,439	
流動資産合計				11,696,918
資産合計				146,576,040

負　債　の　部

3　固　定　負　債			
（1）企　業　債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,347,834		
企　業　債　合　計		24,347,834	
（2）引　当　金			
イ　退職給付引当金	2,519,714		
引　当　金　合　計		2,519,714	
固　定　負　債　合　計			26,867,548
4　流動負債			
（1）企　業　債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,714,925		
企　業　債　合　計		3,714,925	
（2）引　当　金			
イ　賞　与　引　当　金	144,606		
ロ　法定福利費引当金	28,439		
引　当　金　合　計		173,045	
流　動　負　債　合　計			3,887,970
5　繰　延　収　益			
（1）長　期　前　受　金		58,214,925	
収益化累計額		△ 37,029,941	
繰　延　収　益　合　計			21,184,984
負　債　合　計			51,940,502

資　本　の　部

6　資　本　金			90,946,935
7　剰　余　金			
（1）資本剰余金			
イ　補　助　金	2,033,213		
ロ　受贈財産評価額	43		
ハ　工　事　負　担　金	218,497		
ニ　その他資本剰余金	231,487		
資本剰余金合計		2,483,240	
（2）利益剰余金			
イ　当年度未処分利益剰余金	1,205,363		
利益剰余金合計		1,205,363	
剰　余　金　合　計			3,688,603
資　本　合　計			94,635,538
負債資本合計			146,576,040